

釜山 APNG Camp 報告書

JPNIC Next Generation Task Force 史 虹波

2003 年 9 月 18 日

8 月 24 日と 8 月 25 日で開かれた釜山 APNG Camp に参加しました。これまでに 3 回 APNG Camp に参加してきました。APNG Camp の参加で成長し、また Camp の成長に手伝ってきました。

釜山キャンプでは IDN セッションを司会し、多言語ドメイン名の普及状況や普及する方法の模索を考えておりました。また同じ参加者の中からネットワーク分野を研究している若者を集め、ネットワーク研究を中心とするワーキンググループを作るのを目指していました。

今度のキャンプで、上記の 2 つの目的をほぼ達成しましたと考えております。元 IETF の IDN-WG の Chair James Seng 氏をはじめ、CNNIC の Prof. Qian の Ph.D 学生 Zhang Hong 氏、 JPRS の遠藤 淳氏そして TWNIC の Anthony Lee 氏が IDN セッションでプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションを通して、各国地域の多言語ドメイン名の普及状況、実装などについて、情報交換しました。多言語ドメイン名の普及方法については一回だけの会議で解決方法を見つけ出すのが難しく、これからも引き続き普及についてキャンプで議論し、各国の情報交換が必要だという意見がありました。次回のキャンプでは多言語ドメイン名をどのように取り込むのかについてテーマが残されている状態です。

ネットワーク研究グループについては、キャンプのときにアジア太平洋地域から若者研究者たちを 9 名集まりました。Network Research Working Group という名前はキャンプ時の暫定の名前となっていました。その後の MSN Messenger における議論で Mobile Wireless Security Working Group という名前に決定されまして、9 月 10 日からキャンプのメーリングリストがスタートしました。メーリングリストの名前は camp-wms@apng.org となっています。9 月 17 日に日本の早稲田大学と中国の北京大学に各 1 名の新しいメンバーがこのグループに参加しました。今日の時点ではグループに 11 名のメンバーが入っています。このワーキンググループはモバイル、無線、セキュリティについて研究を行い、メール、メッセージなどを使って情報交換を行います。次回の APNG Camp の会合で、各自の研究発表を行い、研究領域に新しい出来事や、新しい研究アイデアのディスカッションを行い、よいテーマを論文発表だけではなく、チームを組んで IETF 及び ITU に提案を行いたいと計画しております。このワーキンググループは学生による研究ワーキンググループであり、研究情報の交換を行い、研究の促進を目指しています。

以上は今度の釜山 APNG Camp についての報告です。